

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

平成29年度 第5回総会議事録

平成30年1月19日

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
平成29年度第5回総会議事録

日 時：平成30年1月19日(金) 15:30～
場 所：福島テルサ小会議室 「しのぶ」

議事の経過及び内容

午後3時30分、遠藤康浩 事務局長の司会により、以下の順序に従って総会が進められた。

1. あいさつ

川上雅則会長（JA福島中央会 常務理事）

2. 議長選出

事務局長から、慣例により川上会長が議長を務めることを提案。議場に諮り、議場の承認を得て会長が議長の就任あいさつをし、議事に入った。

3. 議事録署名人及び書記の選任

議長から議事録署名人及び書記の選任について議場に諮ったところ、議長一任に異議無しの意見があり、議事録署名人には全国農業協同組合連合会福島県本部渡部米穀部長、福島県米麦事業協同組合小木専務理事を書記にJA福島中央会農業対策部農業振興課大内審査役を選任した。

4. 定足数確認

議長から本総会の定足数について報告を求められ、事務局長より会員団体数11団体のところ、委任状出席を含め全員出席により、総会の定足数に達していることを報告した。

5. 報告事項

「報告第1号水田農業をめぐる情勢」、「報告第2号新規需要米の不適正な流通に伴う新規需要米取り組み計画の認定取り消し等について」議長から、事務局長に報告を求めた。

報告事項説明 遠藤事務局長

併せて福島県拠点の石橋参事官から「米に関するマンスリーレポート」にもとづき、全国の平成30年産主食用米の作付方針について紹介があった。

議長より議場に意見・質問を求めたが、特になく議事に移った。

6. 議 題

議長より「議案第1号平成29年度収支補正予算(案)」について事務局からの議案説明を求めた。

議案説明 遠藤事務局長

議長より議場に意見・質問を求めたが特に無かったため、採決に入った。

議長より「議案第1号平成29年度収支補正予算(案)」について挙手による採決を求めたところ、全員賛成のため、議案第1号は可決承認された。

議長より「議案第2号平成30年度産地交付金について(案)」について事務局からの議案説明を求めた。

議案説明 渡邊事務局員(県水田畑作課主任主査)

議長より議場に質問・意見を求めたところ、福島県米麦事業協同組合小木専務理事より発言があり、東北農政局福島県拠点が回答した。

福島県米麦事業協同組合小木専務理事

新規の畑地化助成については、誰が確認を行うのか。
畑地になった事を農業委員会で確認するのか。

福島県拠点(後藤総括)

予算成立前であり、要件等の詳細については、決まっていない。
現時点では、産地交付金等の助成対象は水田台帳から除外する必要がある。

福島県拠点(石橋参事官)

要件として前年の作付実績と助成を受けた後5年間は畑地として、収益性の作物を作付することが必要となる。

要件に違反すれば助成金の返還もあり得る。
詳細については、要綱要領が決定次第に連絡する。

議長より議場にその他の意見・質問を求めたが、特になく異議無し
の声があったため採決に入った。

議長より「議案第2号平成30年度産地交付金について(案)」に
ついて挙手による採決を求めたところ全員賛成のため議案第2号は可
決承認された。

議長より「議案第3号平成30年産米の地域の合理的な単収の設定
(案)」について事務局からの議案説明を求めた。

議案説明 渡邊事務局員

議長より議場に質問意見を求めたところ、福島県米穀肥料協同組合
梅本理事長より発言があり、川上会長が回答した。

福島県米穀肥料協同組合梅本理事長

単収の平均値として、前7年間の最大最小値を除いた5か年平均と
する7中5で算出しているが、この手法は損害賠償と関連しているの
か。

川上会長

7中5は統計の分析手法として使うものであり、損害賠償との関連
は無い。

議長より議場にその他の意見・質問を求めたが、特になく異議無
しの声があったため採決に入った。

議長より「議案第3号平成30年産米の地域の合理的な単収の設
定(案)」について挙手による採決を求めたところ全員賛成のため、
議案第3号は可決承認された。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議長及び議
事録署名人がここに署名し、押印する。

平成30年1月19日

議長

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議 会長

議事録署名人

福島県米麦事業協同組合 専務理事

議事録署名人

全国農業協同組合連合会福島県本部 米穀部長